

好評連載中!

企業探訪

いきいき

Interview vol.22

山口和之さんの



日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

(やまぐち・かずゆき)

参議院議員・南東北グループ顧問・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院(現在の当院)のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

山口 誕生日やクリスマスなどの記念日に欠かせないケーキやお菓子は私たちを幸せにしてくれます。今回は石川町のお菓子のさかいさんにお邪魔しています。まずは事業内容や経営理念について酒井秀樹社長にお聞きします。

酒井 当社は1913年(大正2年)に牛乳店として創業しました。現在は和洋菓子の製造・販売を手掛けており、石川本店ではパンも扱っています。石川町(本社と本店の

2店舗)のほか郡山市、須賀川市、棚倉町、矢吹町に直営店があり、通信販売も行っています。私は3代目で、次女が4代目を継ぐ予定です。経営理念はシンプルに「美味しいお菓子を美味しく食べていただく」ですが、今はSNSなどで「映える」ことも重要な要素になっているので、見た目も大事にしています。

山口 お客様と接する際に大切にしていることは。

酒井 自信を持って言えるか

代表取締役社長 酒井 秀樹氏



(株)お菓子のさかい

石川郡石川町長久保277-20

TEL.0247-26-2522

<https://sweetssakai.kawaiishop.jp/>



華やかなパッケージの商品が並ぶ店内(石川本店)

地産地消で福島県や石川町の魅力を発信 お菓子のディズニーランドを目指す

酒井 具体的な商品名を挙げることは控えますが、特に力を入れているのは「間違ってなく材料がよいものだ」と言える商品です。地産地消にこだわりもあり、本宮町の烏骨鶏の卵や矢祭町のイチゴ、会

津山塩、富岡町のパッションフルーツ、浪江町のえごまなど本県産の素晴らしい材料を使ったカステラやケーキ、パイなどがおすすめです。意外に思われるかもしれませんが、本店のみで販売している食パンも秘かに人気があり、ぜひ一度食べていただきたい。

山口 学法石川高校とは関係が深いそうですね。

酒井 私自身も卒業生で3年間、甲子園を目指して頑張っていました。校舎は本店

のすぐそばです。昨年の選抜大会出場の際は「学法石川」の焼き印を付けた「幸福の黄色いブッセ」を作りました。野球部だけでなく陸上競技部など他の部活動も盛んで、生徒たちは石川町民の誇りです。

山口 人材確保や社員教育などについて教えてください。

酒井 どの業種も人材確保に苦労していますが、お菓子屋は女性が活躍できる可能性が高いので期待しています。人材確保や社員教育はトップの考え方次第なので、しっかりとやっていきたい。定期的に社員と面談し、仕事の悩みなどを聞いて、問題点など早期に解決するよう努めています。

山口 今後の夢やビジョンなどを聞かせてください。

酒井 社員みんなで考えたビジョンに「私たちはお客様の声を喜びとして、全員参加でお菓子のディズニーランドをつくる」があります。お菓子作りを通してワクワクし続けたい。出社して働くことで社員もお客様も、みんなが元気になる。それがいちばん幸せなことだと考えています。



お菓子作りにまい進する酒井社長と山口さん